

Joint Education Program（北京外国語大学ポーランド学科）報告  
令和元年9月8日～15日（8日間）

北京外国語大学ポーランド学科（Beijing Foreign Studies University, Department of Polish Studies）への短期海外留学（SV）に引率教員として同行した。北京外大で実施するのは今回が第1回目である。本学でポーランド語を専攻する学生が北京外大ポーランド学科の授業に参加することにより、ポーランド語を通じた日本と中国の学生の活発な交流を Joint Education Program として実現することが主な目的である。

実施期間中、本学からの参加学生は同ポーランド学科に所属する教員（LIYinan 教授、Andrzej Ruszer 講師、ZHAO Zhen 講師）による学部学生用の授業（「講義」「演習」）や同学科主催の課外活動に出席した。休日には、同学科学生のポーランド語ガイドによる万里の長城へのエクスカージョンにも参加した。さらに9月12日には、引率で同行した森田も同学科学生を対象にポーランド語による特別講義をする機会を得た。北京市内にある在中國ポーランド共和国大使館への表敬訪問も行った。

日本と中国という、歴史的・政治的に互いに複雑な問題を抱える両国の若者が、ポーランド語という「中立の言語」により国境を超えた、利害がすれ違うことのない、純粋な交流を実現できる稀有な機会を生み出すことができた。従来の日中交流とは原理も方式も大きく異なる、新鮮味ある、多極的で一歩進んだユニークな国際交流を展開することができ、本学におけるポーランド語の Joint Education Program としての重要な成果の一つといえるであろう。

同大学ヨーロッパ言語文化学部長の ZHAO Gang 教授及びポーランド学科主任の LIYinan 教授からは、本学のイニシアチブによりせっかく始められた企画なので、今後ともぜひ継続してほしいとの期待が寄せられた。非常に斬新な人的交流の企画で、双方の学生にとって大きな刺激となり、モチベーションの向上にもつながるという評価を受けることができた。今後は北京外大側からの学生の受け入れも実現することにより、双方向での一層活発な交流が期待される。

学生の専攻分野とは全く異なる言語文化圏への留学であるため、当面引率教員による運営サポートが必要であるが、将来的には双方の強固な信頼関係を構築し、引率なしで安心して派遣できるような道筋を立てることにより、よりスムーズな交流制度を整えていくことが望まれる。

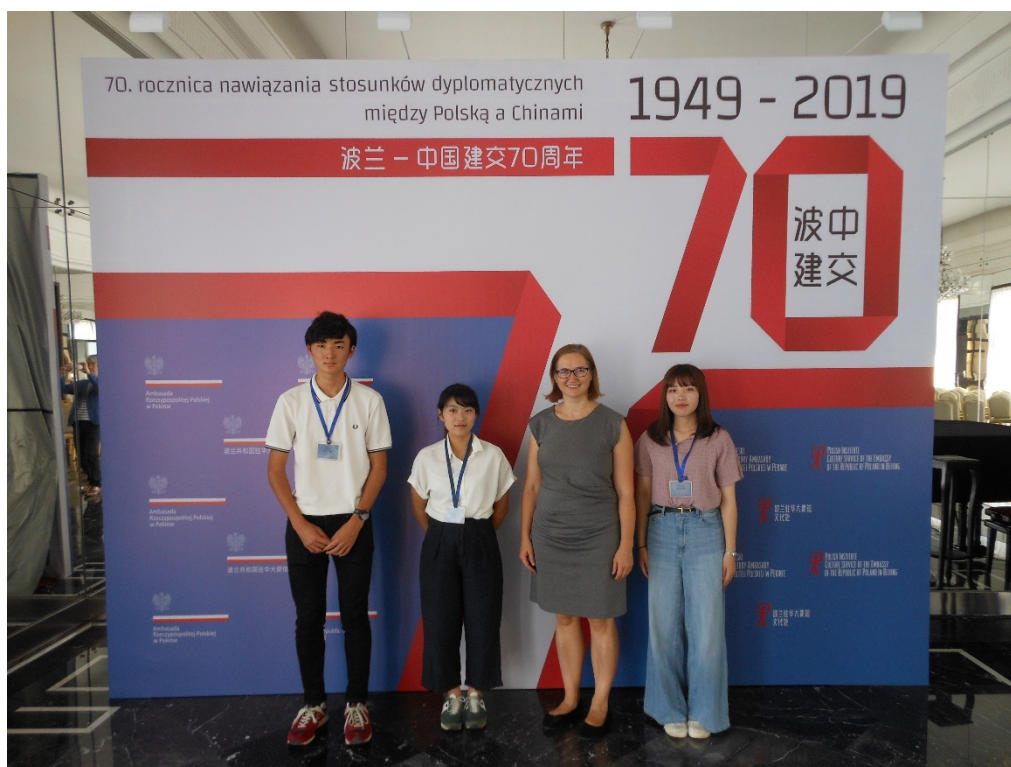
令和元年9月18日  
大学院総合国際学研究院  
森田耕司



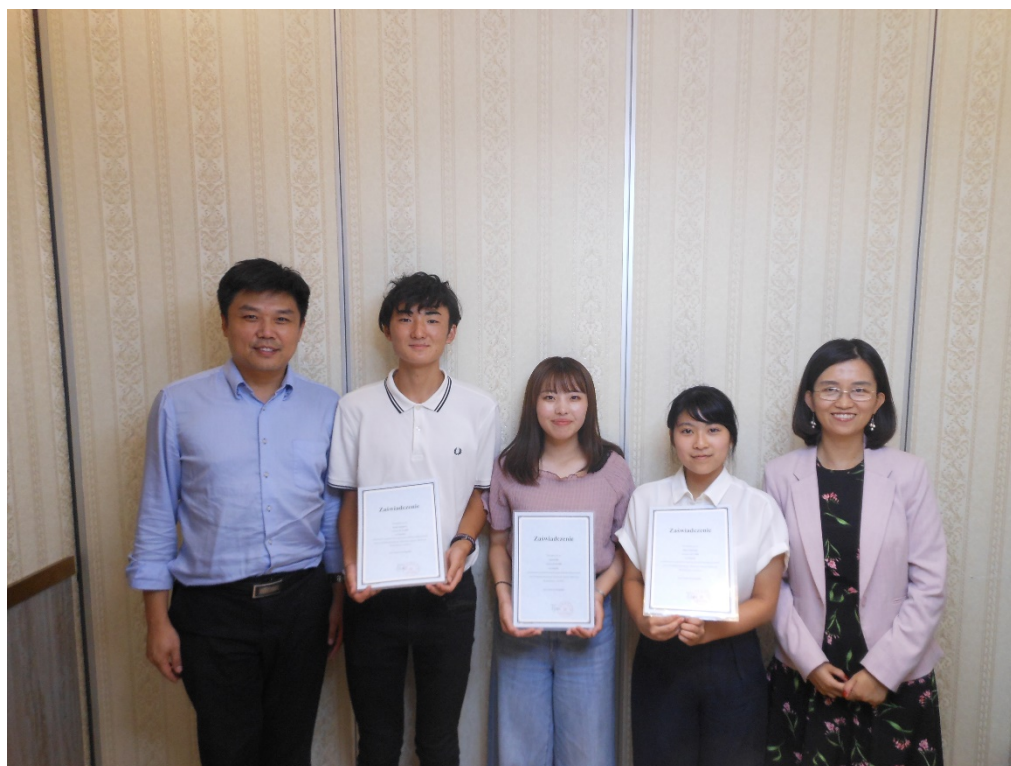
LI Yinan 教授の授業に参加している北京外大及び本学の学生



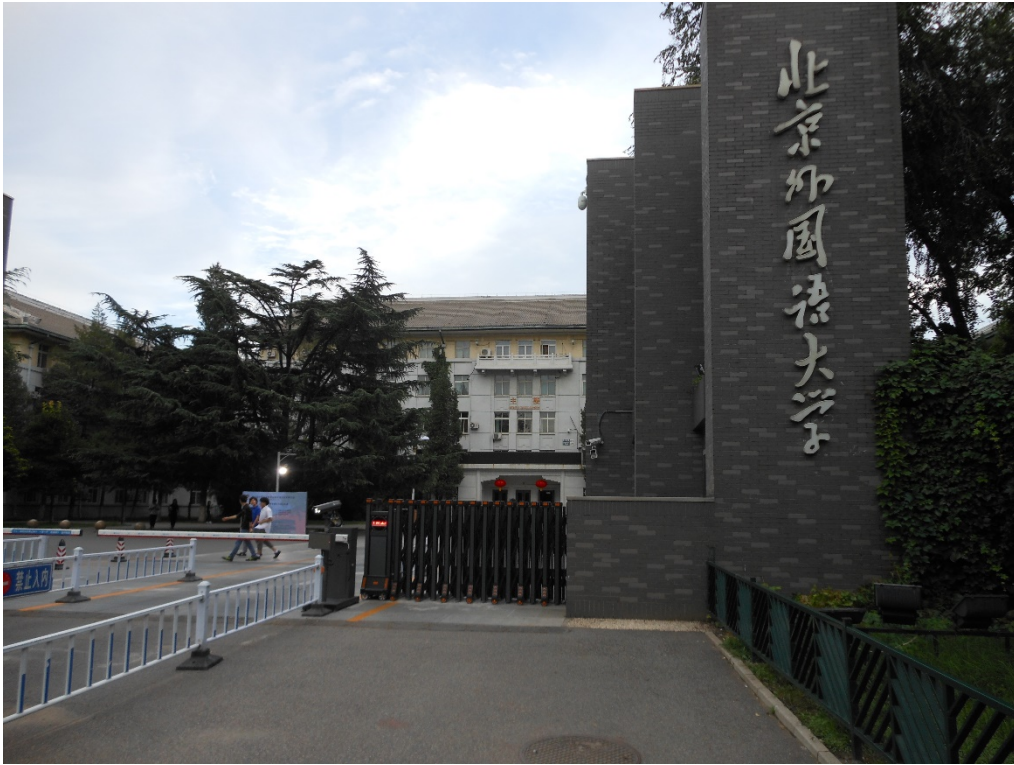
Andrzej Ruszer 講師の授業に参加している北京外大及び本学の学生



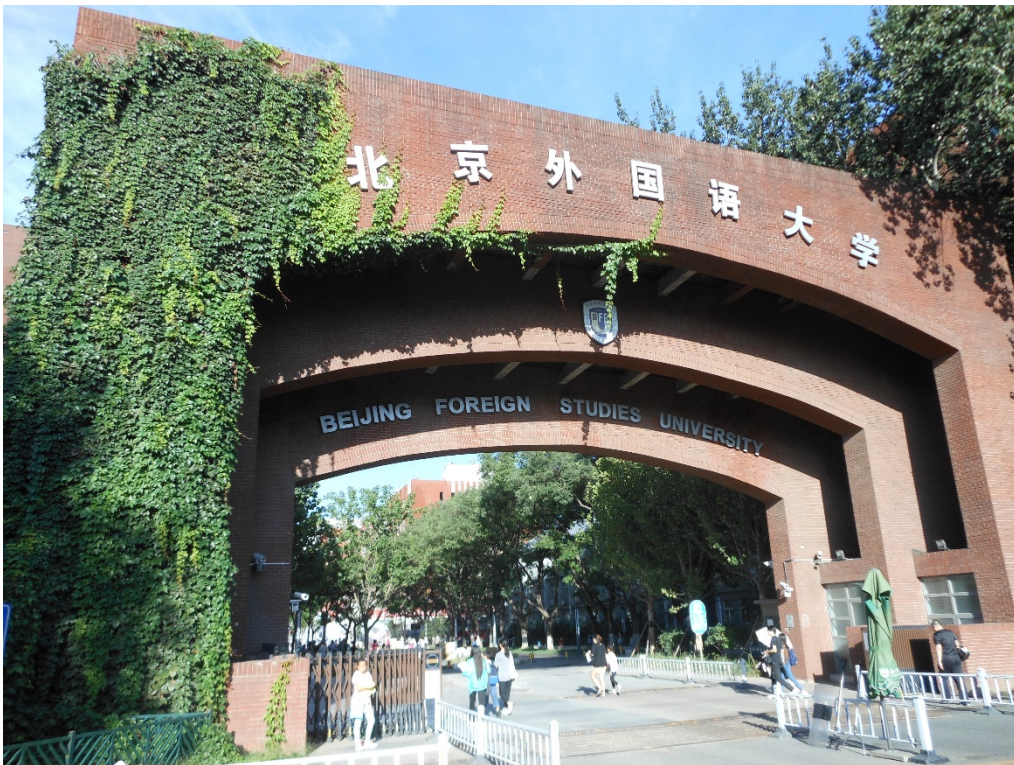
在中国ポーランド共和国大使館 Maria Wejs-Domzalska 参事官（学術・教育担当）及び本学の学生



ヨーロッパ言語文化学部長 ZHAO Gang 教授及びポーランド学科主任 LI Yinan 教授より  
修了証を授与された本学の学生



北京外国語大学正門及びヨーロッパ言語文化学部が入る本部棟



北京外国語大学西部キャンパス正門